



TITLE:

全国私立大学FD連携フォーラム
(JPFF)の活動展開と今後の課題(<第
2部>第3回FDネットワーク代表者
会議:資料)

AUTHOR(S):

井上, 史子

CITATION:

井上, 史子. 全国私立大学FD連携フォーラム(JPFF)の活動展開と今後の
課題(<第2部>第3回FDネットワーク代表者会議:資料). 京都大学高等教
育叢書 2011, 30: 228-232

ISSUE DATE:

2011-03-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/139336>

RIGHT:



全国私立大学FD連携フォーラム (JPFF)の活動展開と今後の課題

第3回FDネットワーク代表者会議

2010. 9. 8

立命館大学 教育開発推進機構 井上史子

1

Copyright © 2010 Institute for Teaching and Learning, Ritsumeikan University, All rights reserved.



本日の発表内容

- 全国私立大学FD連携フォーラムの概要
- 活動展開
- 今後の課題

2

Copyright © 2010 Institute for Teaching and Learning, Ritsumeikan University, All rights reserved.

JPFFの設立目的と活動



●設立のねらい

全国の中規模以上の私立大学が連携してFD（ファカルティ・ディベロップメント）を推進するため2008年に発足。

フォーラムでは、「実践的FDプログラム」を共同開発・共同実施することを通じて、学生を主体的学習者に育て、私学の教育の質を保証することを大きな目的とする。

●おもな活動

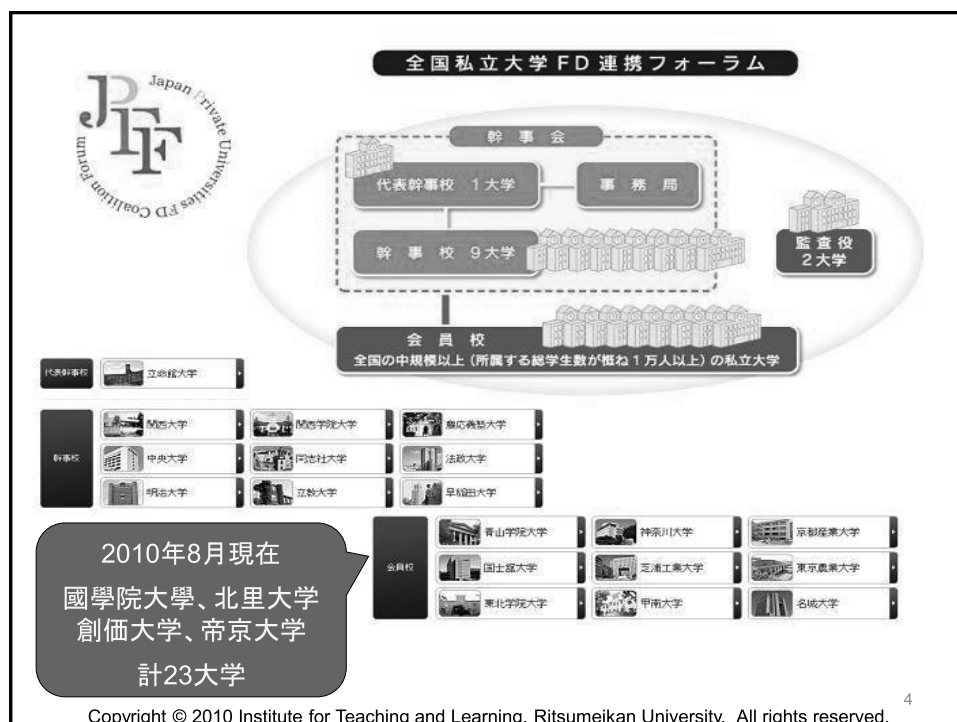
◎FDに関わる取組や研究の共同開発・実施

◎全国への情報発信（ホームページの制作、広報誌の発行等）

◎FDに関わる教材・資料・情報の提供・共有

◎その他、以上の目的を達成するために必要な活動

Copyright © 2010 Institute for Teaching and Learning, Ritsumeikan University, All rights reserved. 3



活動展開（１）



2008年

- 10月：FDマップならびにオンデマンド講義、ワークショップの開発
12月：「全国私立大学FD連携フォーラム」の発足

2009年

- 2月：先進的FD実践や大学連携について欧州調査の実施
3月：ファカルティ・ディベロッパー養成プログラムの開催
4月：・オンデマンド講義とワークショップの開発
・立命館大学新任教員ならびに連携大学を対象としたFDプログラムの試行的実施
5月：2009年度全国私立大学FD連携フォーラム総会ならびにパネルディスカッションの開催（於：明治大学）
8月：教育GP中間報告会の開催（於：立命館大学）

Copyright © 2010 Institute for Teaching and Learning, Ritsumeikan University, All rights reserved. 5

活動展開（２）



2010年

- 4月：・オンデマンド講義とワークショップの改善、追加開発
・立命館大学新任教員を対象としたFDプログラムの継続
・連携大学におけるFDプログラムの継続的实施
・新規モデルプログラムの開発（新FDeR養成プログラム、TADプログラム、SDプログラム）
5月：2010年度総会の実施（於：関西大学）
10月：臨時総会の開催（2011年度以降の運営方針の決定）

2011年

- 2月：教育GP最終成果報告会の開催
3月：立命館大学第一期新任教員研修受講者の修了認定
（現時点で10名が100%受講：修了式で褒賞）
4月以降：新体制への移行

Copyright © 2010 Institute for Teaching and Learning, Ritsumeikan University, All rights reserved. 6

2011年度以降の運営方針（案）



● 立命館大学における教育GP採択期間の終了に伴う変更

→「JPFF」と「実践的FDプログラム」の運営の分離

JPFF：・代表幹事校を持ち回りとする（2年任期、2012年度まで立命館大学）

- ・会費制（年間 5万円）
- ・会員校の更なる拡大をめざす

実践的FDプログラム：

- ・立命館大学が継続して開発・運営
- ・受講対象の拡大（中規模私学以外の大学にも公開、非常勤教員や大学院生対象モデルの開発）

7

Copyright © 2010 Institute for Teaching and Learning, Ritsumeikan University, All rights reserved.

今後の課題



● フォーラム内の情報交換をより密にすること

- ・会員校内の温度差の縮小
- ・フォーラムに参加する意義の再確認

→「FDセンター長懇談会」（仮称）を開催予定

● 「実践的FDプログラム」をフォーラムとして修了認定？

- ・プログラム参加への動機付けとなる(会員校より)
- ・プログラムの有効性の確認

→2010年度末にプログラムの第三者評価を実施予定

8

Copyright © 2010 Institute for Teaching and Learning, Ritsumeikan University, All rights reserved.

